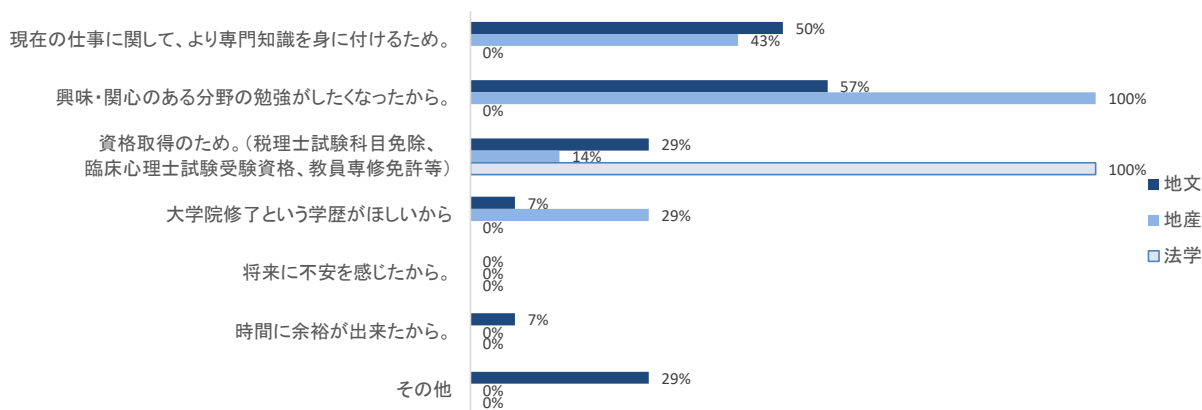
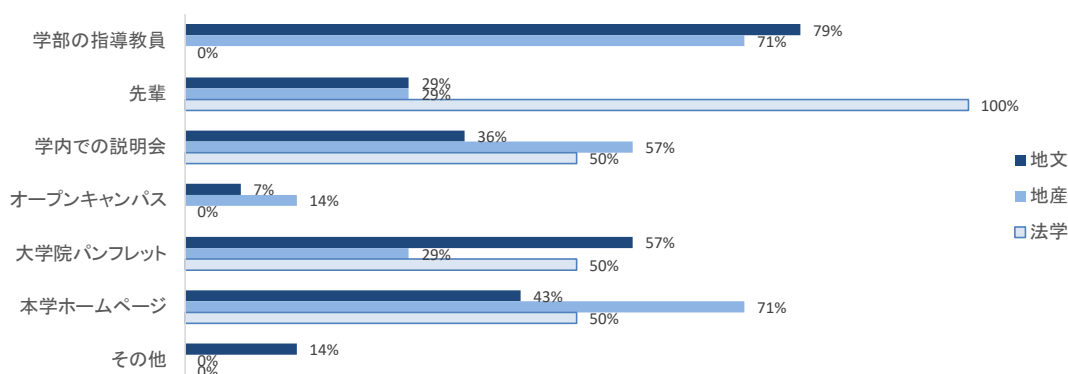


「2020年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(大学院全体)

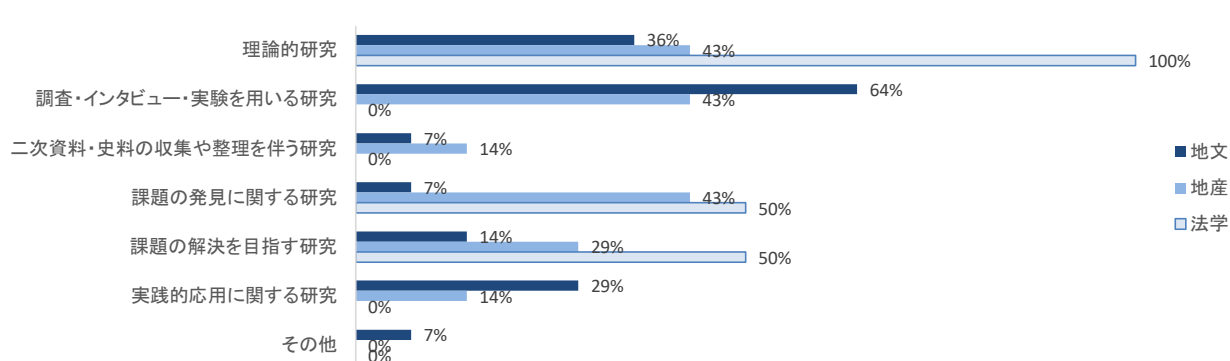
2.進学理由(複数回答)



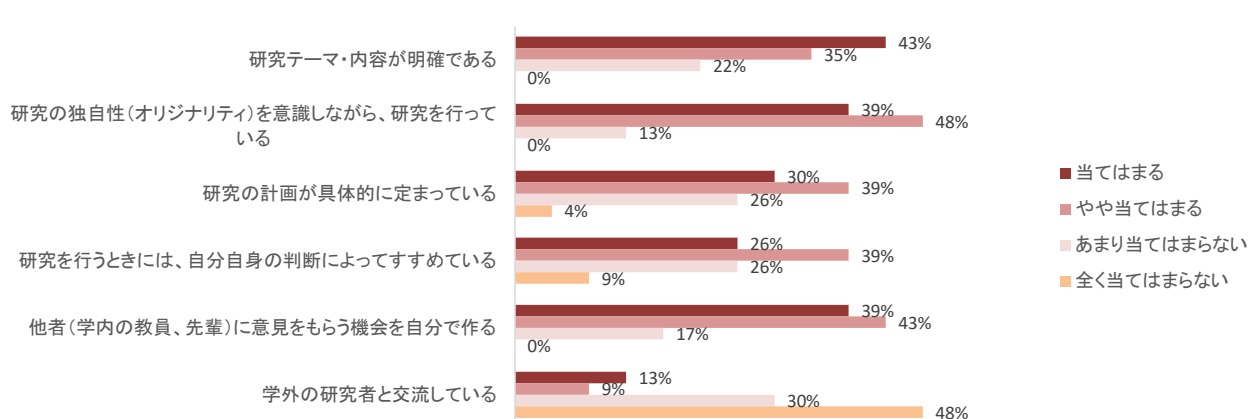
3.本学進学時の情報源(複数回答)



4-①現在、おこなっている研究について(複数回答)

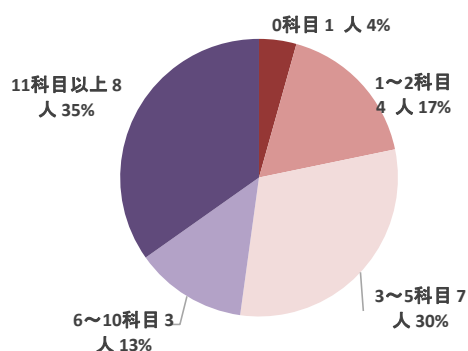


4-②現時点の研究状況

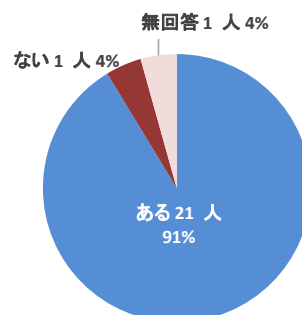


「2020年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(大学院全体)

5-①2020年度の履修科目数



5-②-(1)今後の研究に大いに役立つと思う科目がありましたか。

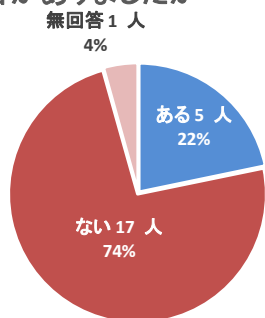


5-②-(2)その科目名は何ですか。 (3)どのような点が役に立つと思ったのですか。

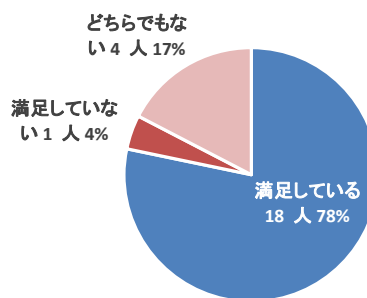
	科目名	理由
地文M1	社会福祉原論	修論を書く上で参考になるため
地文M1	日本言語文化特殊研究Ⅰ	学生の自主性を重んじつつも、オリジナリティーのある研究を行うために必要な視点の持ち方を、研究テーマに関連する文献や作品を数多く紹介する方法で提示してくれた。また、実際に作品を教員と読み合わせながら、問題点や気になった点を話し合うことで、自分の意見が既に指摘されているテーマであることや逆に気に留めなかった感想に新規性があることなどを議論することで気づかされた。
地文M1	全て	実践に役立つ知識
地文M1	社会福祉原理特論	文献の批判的読み方や社会福祉学に必要な知識や研究方法を具体的に学べた。
地文M1	日本近現代文学特論ⅠⅡ	修士論文に必要な文学理論が学べるため
地文M2	臨床面接法特論	さまざまな心理療法を知るきっかけになった。興味・関心のある技法は今後学んで行きたい。
地文M2	言語教育特殊研究ⅣA	実験のデザインや様々な理論をあげている論文をみんなでシェアして読む為、多くの知識を学ぶ事ができた。
地文M2	保健医療政策特論社会倫理	具体的な内容であること。ディスカッションが勉強になった。
地文M2	認知心理学	自分自身のメンタルケアや、自分の学問への応用など
地文M1	臨床心理学特殊研究ⅠA	授業の中で、研究の進捗状況を発表することで、研究内容に関して、他者の意見やアドバイスをいただくことができ、研究の改善すべき点や、方向性が見えてきたという点で役に立ったと思う。
地文M1	日本語論文の書き方Ⅰ	論文の構成、書き方
地文M2	認知心理学特論	グループディスカッションのやり方を学べた
地文M1	日本語文化特殊研究	研究課題の探求方法や基礎資料の調査方法などにとても役立った。
地産M1	応用マクロ経済	基礎的な理論の習得
地産M2	マーケティング特殊研究Ⅱ	マーケティングは学問および実社会において発展し続ける分野であります。そのため、マーケティングにおける新たな概念や事実を追求し明らかにするために、研究に対する心得や考え方および様々な研究方法など、研究者として究めることの重要性を学ぶことができました。今後の研究活動に大いに役に立ちます。
地産M1	沖縄経済特殊研究Ⅰ 経済情報統計解析特論B	沖縄経済について知り、統計解析につなげられる
地産M2	産業組織特殊研究Ⅱ	先生と対面でどのように進めていきたいか伝えられる。そして、アドバイスや良い資料を提供してくれる点において役に立つと思った。
地産M2	応用マクロ	今後の沖縄について活発な議論を行なった事。
地産M2	経済情報統計解析特殊研究Ⅱ	担当教授に指導をしてもらいながら、行き詰っている点を整理して解消できたことで論文を進めることができた
法M1	税法特論・集中講義	税法に対する知識が増えた
法M2	税法特殊研究Ⅰ	修士論文を視野に入れ、論文で扱えそうな判例研究ができるから

「2020年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(大学院全体)

5-③-(1)改善をした方が良くと思う科目がありましたか



6-①指導体制・環境に満足していますか



5-③-(2)その科目名は何ですか。

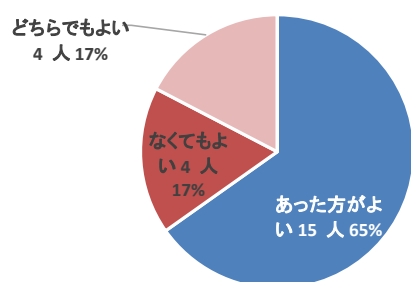
(3)どのような点の改善した方が良くと思ったのですか。

	科目名	理由
地文M1	高齢者福祉特論	①シラバスどおりに授業がすすめられなかった。②教員に授業を構成し、進める力量がないと見受けられた。③科目に期待した内容の講義を受けることができなかった。④代替え措置のレポート提出の内容が抽象的で対応できなかった。⑤講義中、教員との対話が成り立っていない状況があり、過大なストレスを感じた。
地文M2	認知心理学特論	主に生徒だけがディスカッションし、教員は最後の5分しか話さず、教員の専門の知識や意見をシェアしているような授業スタイルではなかった。教員からも様々な意見・知識をいただきたかった。
地文M2	人間福祉特殊研究	2年を目途に修士論文を書き上げるようなご指導をしていただきたい。
地文M1	社会統計学特論	担当教員との連絡方法と評価の基準
地産M1	平日AMの講義	社会人学生だと、時間的に受講が厳しい

6-②満足できない理由は何ですか。(①でBと回答した方のみ)

地産M1	自習室が24時間開放されていない
------	------------------

6-③指導体制、方法、環境について、入学前に担当教員によるオリエンテーションがあったほうがよいですか

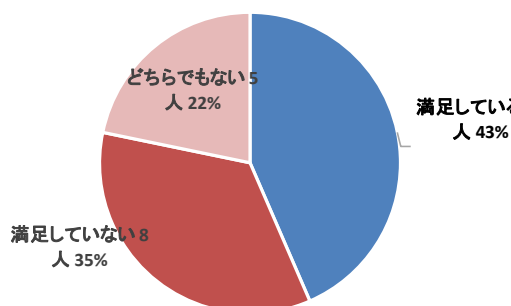


④その他、指導体制、方法、環境に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

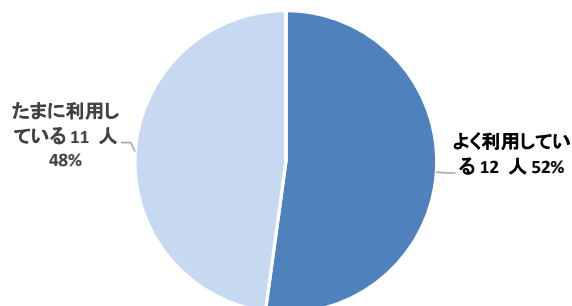
地文M1	講義テキストと対立する立場の論者の先行研究を引用して、レジュメを作成することで機嫌が悪くなる先生が一人いました。これでは、教員と異なる見解を持っても発言できませんし、疑問を解消することもできませんし、ただ肯定することしかできません。改善を求めます。
地文M1	大学院での学習環境の利用の案内が、今回少なかった(大学院事務局)。院に所属して活用できる文献検索の種類や内容の説明の機会があったほうがよかった(図書館関係)。
地文M2	教授・準教授関係なく、生徒のやりたい研究分野に合った教授が指導教員になることができれば、もっといいと思う。
地文M2	連絡等は、メール等で確実に行ってくれるので見落としすることがなかった。
地文M1	・論文の複写料と送料の自己負担の軽減 ・13号館6階の大学院専用のパソコン室コピー機の紙詰まりの解消や文具類(ホッチキス、穴あけパンチ)などの設置要望
地文M1	学習室のテーブルは一人一客ずつがあると助かります。集中できます。
地産M2	学生さん並びに先生も事前のオリエンテーションを行うことで、今後の研究の進め方が見えてくると思うからです。
地産M1	担当教員による丁寧なご指導のおかげで、安心して研究に取り組むことができています

「2020年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(大学院全体)

7-①大学院の施設・設備に満足していますか



7-③大学の設備(研究室や図書館)を利用していますか



7-②満足していない理由は何ですか。(①でBと回答した方のみ)

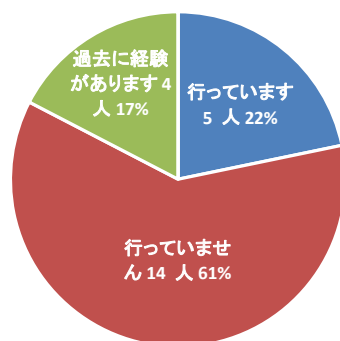
	理由
地文M1	自習室の環境が整っていない
地文M1	①やむをえない状況下ではあるが、図書館の研究個室の利用ができなかった。②関連して図書館の文献や資料の活用がしにくかった。
地文M1	図書館の一回の利用時間が短いから
地文M2	統計ソフトが導入されているPCの数や統計ソフト機能が限られており、研究の枷になっている。
地文M2	実験できる場所がない。
地産M2	院生共同研究室のSPSSソフトが利用できるパソコンが少ない。
地産M2	PCが使いにくい。キーボードが誤入力しやすい、もしくは押せていないなど。また、モニターの画質が悪くて、表や図などの細かいところが見えにくいときがある。
地産M2	大学院のPC教室にSPSSの利用台数が少ない為、使用されていると論文が進めにくくなる

7-④その他、大学院の施設・設備に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

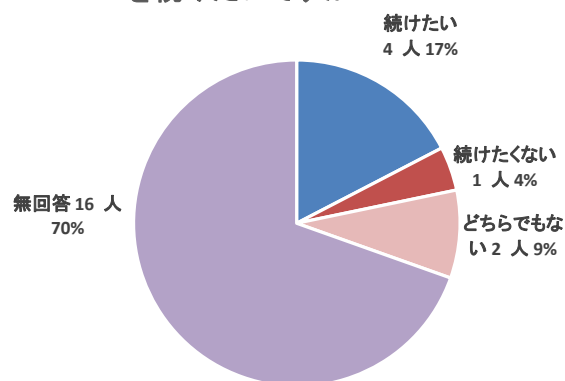
	内容
地文M1	コロナで図書館利用が制限されていて不便に感じている
地文M1	学内限定の文献検索・閲覧機能を、学外からでも利用できるようにしてほしい(例えば日本福祉大学大学院では、学外利用が可能)
地文M1	前期とは違って、後期は図書館を限定的ではあっても利用できるようにしてくれたことは助かった。今後状況が悪化しても、せめて院生だけには図書館を使えるようにしてほしい。
地文M2	対面実験を行う際に、静かで障害のない実験室みたいな施設があればいいと感じた。
地文M2	研究室は、机上が片付けられていなかったり、私語があったり利用しにくかった。
地文M2	自習室をもう少し整えてほしい。
地産M2	大学院のPC教室以外に、各研究室へPCを置いてくれると助かります。例えば、PC教室だと全ての研究科の院生が利用するため、会話を慎まなければならない、同研究科の院生間での学び合いが難しい場合があります。また、個人のPCを持ち込む際には、PCの破損等のリスクもあるからです。他には、大学院施設を24時間開放してもらえると、社会人院生も自分の時間で研究が行え、また現役の大学院生もアルバイト終わりに大学に来て研究が進めれる、環境づくりになると思うからです。
地産M1	図書館の利用時間を延ばして欲しい
地産M2	SPSSなどの計算ソフトが使えるPCを増やしてほしい 図書館の個室の研究室も増やしてほしい 自習室を使える時間を増やしてほしい
地産M2	SPSSが使えるパソコンを増やして欲しい
地産M2	SPSSの利用台数を増やしてほしい
法M1	13号館605のPC室のコピー機が異常を起こしやすく、たまに困る。複合機は使用時に軽くふいたりしているが、常にきれいにされているとありがたい。

「2020年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(大学院全体)

8-①現在、教育支援者(TA・SA)として、学部時授業のサポートをしていますか



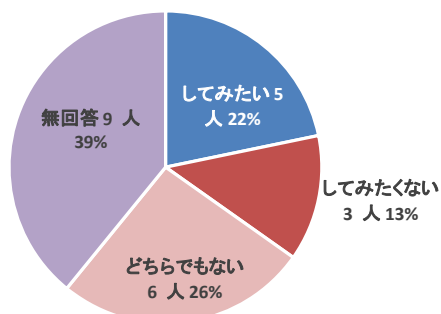
8-②M2以降も、教育支援者(TA・SA)を続けたいですか



8-③上記②において、その回答を選んだ理由は何ですか。

地文M1	自分の学びにつながるため
地文M1	TA・SAについて内容がよく分からない。
地産M2	研究などで学んだことを、TA・SAの教育支援者の活動を通して、アウトプットできるからです。さらには、学生さん目線での新たな問題の発見にも繋がるため、続けたいです。
地産M2	自分の勉強になるから。インプットしてきたものをアウトプットする作業の中で相手に伝わりやすい言葉選びを考えるようになった。
地産M2	卒業する予定のため
地産M2	他人の論文指導をすることで、自身の論文を整理できることがあるから

8-④教育支援者(TA)経験がない方へ 教育支援者(TA)の経験をしてみたいですか

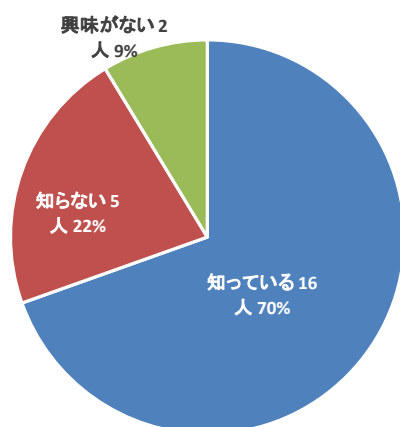


8-⑤上記④において、その回答を選んだ理由は何ですか。

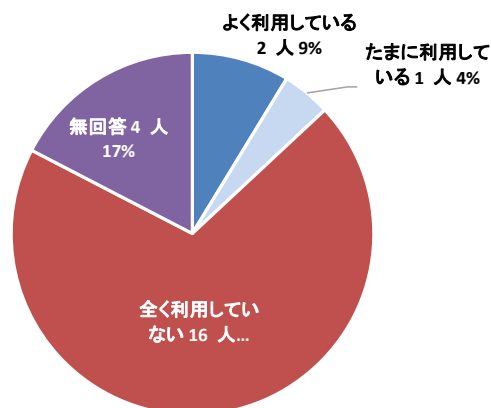
地文M1	視野の広がりや、講義準備の段階などで新たな発見や今後の知識になりえそうな出来事があるかもしれないと思ったから。
地文M1	教員の道を検討しているため
地文M1	TA経験者の先輩から話を聞いて関心を持ったため。また、TAとして学部講義に参加することで、自身もその講義について学ぶことができるため。
地文M1	社会人学生のため
地文M1	忙しいので、難しい。
地文M2	時間的な余裕がない。
地文M1	教育支援者制度の内容がよくわからないため
地文M1	経験もないし、時間的にも無理だと思う。
地産M1	内容を知らないのではなんとも言えない
地産M1	経験として
地産M2	現場の経験が出来るから
法M1	仕事をしているためそこに割く時間がない
法M1	要望があればやってみたいが、進んでやる気はない。

「2020年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(大学院全体)

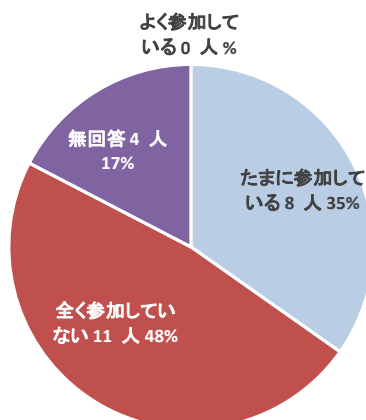
9-①本学の4研究所を知っていますか



9-②本学研究所の施設を利用したことがありますか



9-③本学研究所が主催する「研究会」等に参加したことがありますか



10. その他、ご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。(時間数、科目の種類など)

地文M1	学外で同じ研究をしている方や、分野が近い方と交流する機会が欲しい。院生なので自身で足を運ぶのが当たり前とは思うが、中々どこでいつどんな講演をしているのか等わかりにくいこともあり、交流する機会があまりないと感じる。
地文M1	①課程修了に伴う教育訓練給付制度の活用ができるようにしてほしい(以下、厚生労働省関連ページ)。 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html ②認定社会福祉士取得のための「大学院(教育基幹)ルート」の科目申請をお願いしたい(以下、認定社会福祉士認証・認定機構資料ページ)。 https://www.jacsw.or.jp/ninteikikou/contents/08_TopLinks/koho20200919.pdf ①、②のいずれも学校からの申請が必要。
地文M1	入学前に受講を希望していた先生方が辞められおり、非常に残念だった。できれば、年配の先生であっても院生の研究に必要な専門性の高い先生は残してほしい。
地文M2	夏期講習や春期講習で特定の専攻の集中講義だけでなく、様々な専攻の集中講義があればいいと思います。
地文M2	科目の種類、特に言語学系を増やしてほしい。
地文M1	6校時、7校時の授業は厳しいので、5校時くらいで終了できると助かる。先生方の学部での授業との兼ね合いもあると思いますが。
地産M1	統計分析の科目を前期にも開講してほしい
地産M2	SPSSが使えるパソコンを増やしてほしいです。
地産M2	共同図書の本の発注をいつでもできるようにしてほしい(月1とか)